

湘南医療大学薬学部の特徴



臨床に強い薬剤師を養成します

定員130名 少人数一体教育

薬学部 医療薬学科
2021年4月開設

JR横須賀線東戸塚駅より徒歩15分

緑に囲まれた教育環境

真剣に学びたい学生を応援します

やる気と能力のある学生を、十分な環境支援で教育し、
「**実力のある薬剤師**」を世に送り出したい・・・

このような学生を求めています

人の役に立ちたい

薬を知って医療に活かしたい

人と関わって社会に貢献したい

理科系の能力を活かしたい

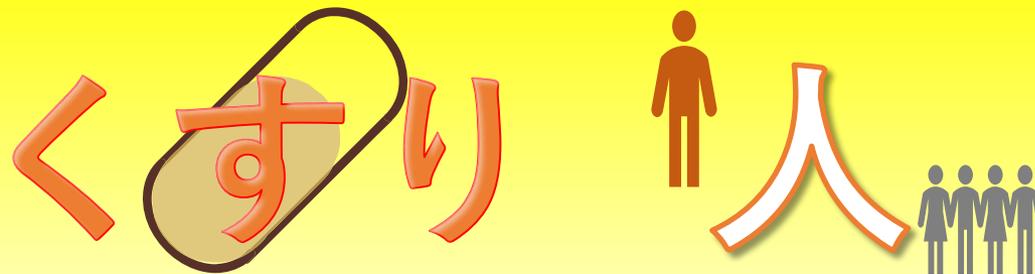
薬を創りたい

やりがいのある仕事、生きがいのある人生を送りたい



薬学を学ぶということは・・・

Life Science

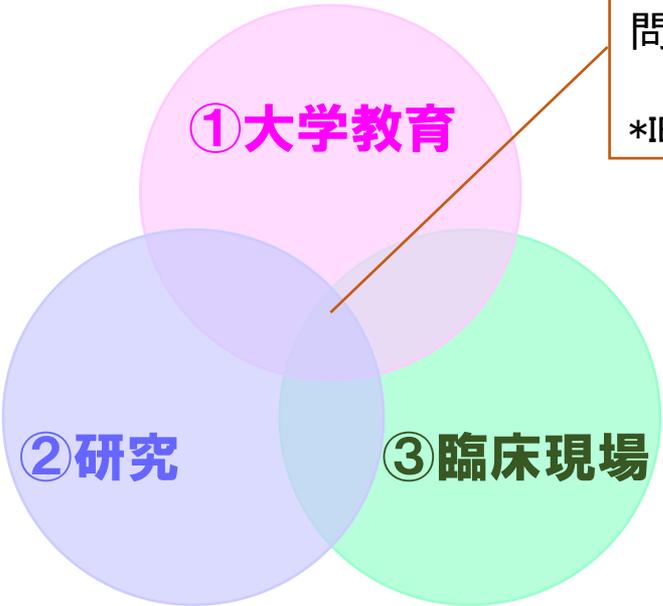


薬学を修める = ライフサイエンスの専門家になる

本学部の特色①

臨床一貫型連携教育体制

- ①大学教育（薬学部・保健医療学部）
- ②研究（学生・教員・医療従事者・臨床医学研究所）
- ③臨床現場（グループ関連施設）



①大学教育

「臨床一貫型連携教育体制 (IES*)教育
問題解決型の生きた教育

*IES: Integrated educational system

②研究

③臨床現場

臨床教育・臨床現場・研究活動という三つの異なる立場が結合・連携して「生きた教育」を行います。

本学の強みである17グループ病院と51保健医療福祉施設の協力体制の下で一貫した臨床教育を行います。

本学部の特徴②

臨床系教員と実習病院のコラボによる実務実習

- ◆ 経験豊かな臨床系教員、実習病院の指導薬剤師、医療系教育スタッフの協力体制
- ◆ 臨床系教員が実習病院に出向き、実習病院の指導薬剤師と一緒に実習教育を行う



実習病院での指導は大学の臨床系教員も現場に出向き、実習病院の指導薬剤師と協力して行います。実務実習は17グループ病院で行いますので、大学と実習病院の連携体制も整っています。

本学部の特徴③

多職種協働によるチーム医療教育

- ◆看護学科、リハビリテーション学科の学生と共に学び、学生生活を送る中で「チーム医療」の基礎を体験する
- ◆実務実習後に履修する科目「チーム医療論」

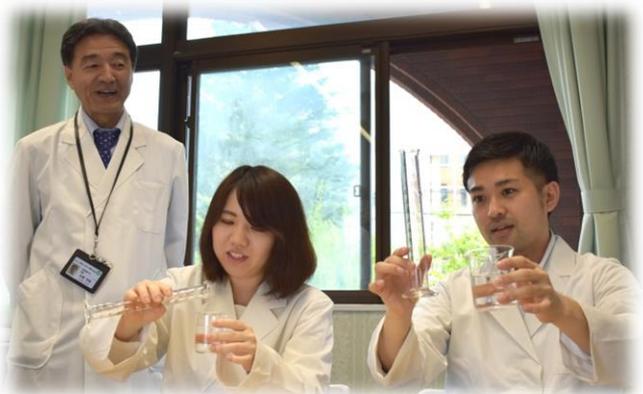


医療現場に欠かせない他職種協働によるチーム医療を身に付けた薬剤師を養成するために、保健医療学部の学生と共に「チーム医療論」を学びます。

本学部の特色④

共同研究室「オープンラボ」での研究

- ◆17 研究室と 7つのオープンラボ（研究分野参照）
- ◆研究テーマ等について関連分野の学生や教員と議論や統合課題を創出することができる
- ◆論理的思考力・課題解決力を身につける



7つの共同研究室（オープンラボ）と4つの研究分野が交流・連携する研究環境で「論理的思考力」と「課題解決力」などの研究マインドを修得します。

薬剤師国家試験対策

1年次

2年次

3年次

4年次

5年次

6年次

モチベーションを高める教育プログラム

薬学入門
早期臨床体験実習
コミュニケーション論

医療薬学チュートリアル
演習Ⅰ

薬学総合プレ研究

医療薬学チュートリアル
演習Ⅱ
卒業研究Ⅰ

薬局・病院実務実習
後期臨床体験実習
卒業研究Ⅰ

チーム医療論
卒業研究Ⅱ

教育センターによる学生個別の学修サポート

- 授業方法の研究（分かりやすい授業研究・分かりやすいシラバスの作成や教材で学習スケジュールのマネジメント・主体的学習方法の開発）
- 学生相談（チューター制度・オフィスアワー・国家試験ガイダンス）
- 課外教育活動（低学年から定期的にゼミや模擬試験を実施）
- 入学前教育（高等学校の未修得科目の補完授業・高等学校の学習内容の復習）

過去問題の解答・解説を
全員に配布し指導します

国家試験対策の
講義・演習

学内での国家試験データベースの活用

国家試験対策
講義・演習
の映像閲覧

薬
剤
師
国
家
試
験

教育カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
社会的責任感 使命感 倫理観	生命・医療倫理学 臨床心理学 倫理学	社会福祉論		実務実習事前学習	薬局・病院 実務実習	
総合教育	文学・文化人類学・国際関係論・教育学・国際保健医療論 音楽論・心理学・発達心理学・哲学・社会学・ジェンダー論など			この試験に合格 しないと医療現 場での実習に行 けません		大学の教員も 病院実習先に 出向き教育し ます
薬学教育モデル・ コアカリキュラム 準拠	基本事項・薬学と社会（薬学入門Ⅰ/Ⅱ） 薬学基礎（化学系、物理系、生物系基礎科目） 衛生薬学（衛生化学） 医療薬学（薬剤学、薬理学）			医療薬学（薬物治療学） 薬学臨床 薬学研究	薬局・病院実務実習 薬学研究	薬学臨床 薬学研究
臨床課題解決能力	薬学入門 早期臨床体験実習 コミュニケーション論 症候論	医療薬学チュートリアル 演習Ⅰ	薬学総合プレ研究	実務実習事前学習 医療薬学チュートリアル 演習Ⅱ 症候・診断学	後期臨床体験実習	チーム医療論
グローバル化への 対応能力	総合英語Ⅰ 英語Ⅰ/Ⅱ	総合英語Ⅱ 英語Ⅲ	英会話	科学英語	総合英語	
論理的思考力 課題解決能力	研究法入門	4つの分野の いろいろな研 究室を事前に 体験します	薬学総合プレ研究	卒業研究Ⅰ 処方解析演習 病理学概論	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	

薬学共用試験

薬剤師国家試験

多職種協働と臨床実践能力の育成・地域医療に貢献できる力を育む

多職種協働……チーム医療論（2学部共通講義）、早期体験学習

臨床実践能力……1年から6年次まで臨床実践教育を行う

地域貢献……地域包括医療論、コミュニティアーマン

グローバル化が進む医療現場で活躍できる能力の育成

英語力……1・2年で総合英語、3年英会話、4年科学英語、
5・6年総合英語 6年一貫教育

研究力……3年前期から薬学総合プレ研究、4年後期から
全員が研究室に配属

充実した総合教育科目（全41科目）

総合教育科目で、保健医療学部の学生と一緒に教養教育（リベラルアーツ）を学びます。

A 人間とコミュニケーション(必修9単位・選択5科目)

総合英語ⅠA・ⅠB 総合英語ⅡA・ⅡB 総合英語Ⅲ 英会話A・B
英語Ⅰ(基礎英語) 英語Ⅱ(医療英語) 英語Ⅲ(コミュニケーション)
中国語 韓国語 コミュニケーション論 チーム医療論

B 人間と文化(選択6科目)

文学 教育学 文化人類学 国際関係論 国際保健医療論 音楽論

C 人間と健康(必修3単位・選択4科目)

栄養学 薬と毒性学入門 障害者スポーツ レクリエーションスポーツ
症候論 社会福祉論

D 人間と情報(必修2単位・選択1科目)

情報リテラシー 研究法入門

E 人間と環境(選択5科目)

環境論 法学(含日本国憲法) 放射線概論 保健行政論 公衆衛生学

F 人間の本質と尊厳(必修1単位・選択7科目)

倫理学 心理学 哲学 社会学 発達心理学 ボランティア学
生命倫理学 ジェンダー論

継続した英語教育

グローバル化が進む医療現場に対応するために、英語教育にも力を入れています！

1年生から6年生まで継続した英語教育（8科目必修）を実現し、卒業研究論文を作成する際は、英語で論文が理解できる能力を養うことを目指します。

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次・6年次
総合英語 I A・I B	総合英語 II A・II B	英会話A・B	科学英語	総合英語III

薬学基礎から専門的な知識・技術を修得

薬学基礎科目

物理系薬学基礎科目

- ・物理系基礎科学
- ・物理化学など

物理化学実習

化学系薬学基礎科目

- ・化学系基礎科学
- ・有機化学
- ・分析化学
- ・天然薬物学など

化学系実習
有機化学実習
分析化学実習
天然薬物学実習

生物系薬学基礎科目

- ・生物系基礎科学
- ・生化学
- ・微生物学
- ・免疫学
- ・解剖学
- ・生理学など

生物系学実習
生化学実習
微生物学実習
生理解剖学実習

充実した設備で薬学の
基礎を学びます

専門講義科目

医療薬学科目

薬理学
薬物動態学
薬物治療学
症候・診断学
病理学概論など

臨床薬学科目

調剤学
看護論
総合リハビリテーション論
セルフメディケーション
コミュニティファーマシー
ファーマシーマネジメント論など

衛生薬学科目

放射化学
衛生化学
機能食品学など

専門演習科目

処方解析演習
医療薬学チュートリアル演習

実務実習事前学習
薬局実務実習 病院実務実習

臨床経験豊富な教員が実習先の
実務実習指導薬剤師と協力して
指導します

薬学研究

薬学基礎分野

薬品物理化学
薬品分析学
薬化学
薬品製造化学
天然物化学

生命医科学分野

微生物・免疫学
感染制御学
機能形態・病理学
生化学
臨床医学

医療薬学分野

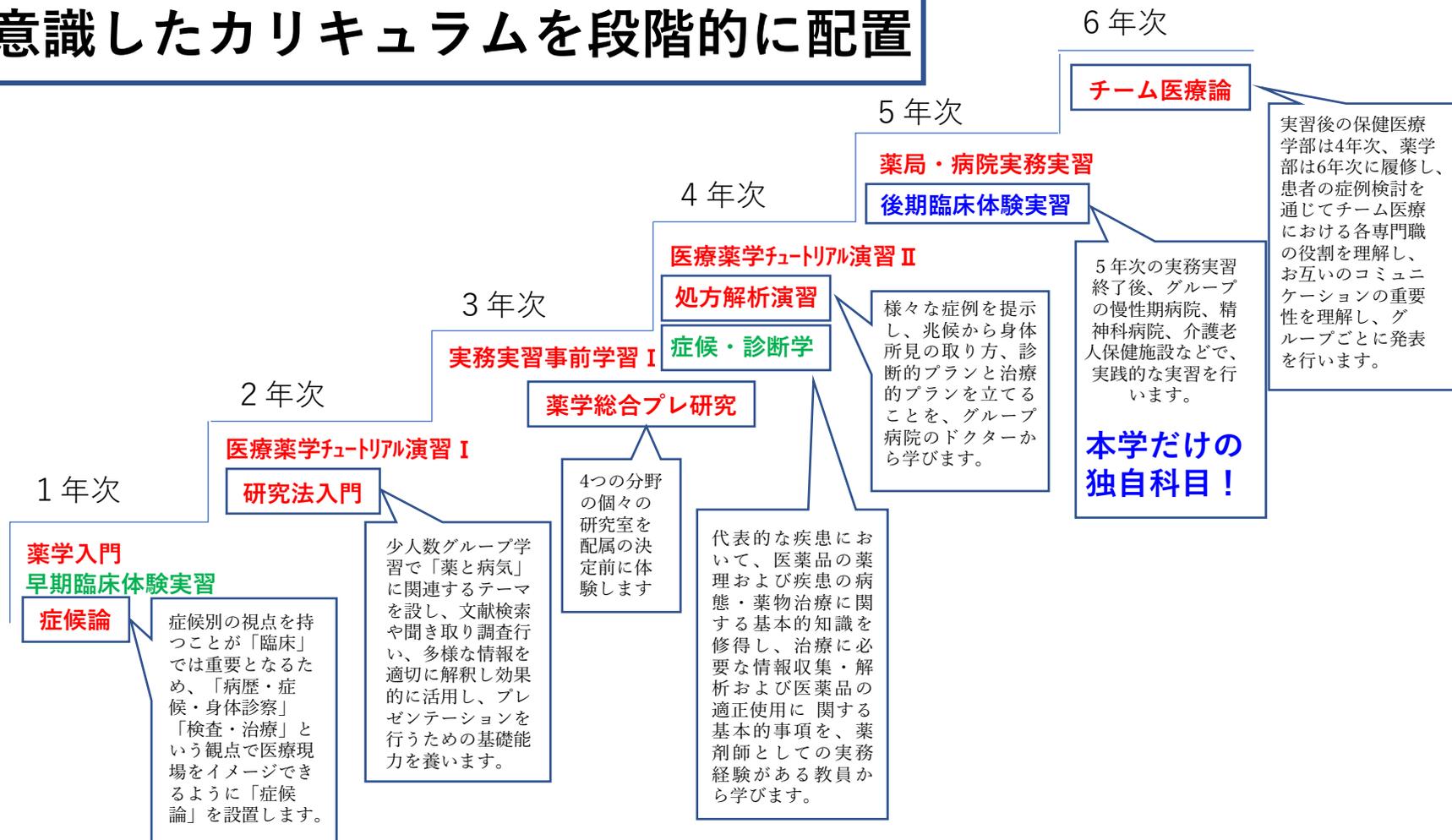
薬理学
臨床薬理学
疾病治療学
薬物治療学
薬物動態学
臨床薬剤学

環境・社会薬学分野

地域社会薬学
薬剤疫学・医療経済学
環境衛生薬学

臨床を意識した段階的な教育

1年次から臨床を理解し、常に臨床を意識したカリキュラムを段階的に配置



研究分野

オープンラボ制により4研究分野が相互に関連し合いながら、さらにふれあいグループの医療施設及び保健医療学部と連携しながら論理的思考力と課題解決力を研ぎ、研究成果を世界に発信する。

薬学基礎分野

薬品物理化学 薬品分析学
薬化学 薬品製造化学 天然物化学

物質の化学的、物理的性質や構造を学び、創薬につなげる分野

医療薬学分野

薬理学 臨床薬理学
疾病治療学 薬物治療学
薬物動態学 臨床薬剤学

医薬品の作用と生体内での医薬品の働きを理解する分野

生命医科学分野

微生物・免疫学 感染制御学
機能形態・病理学 生化学 臨床医学

生命現象を解明することに焦点を当て、創薬や臨床へつなげる分野

環境・社会薬学分野

地域社会薬学
薬剤疫学・医療経済学
環境衛生薬学

環境衛生と患者の疾患に対し適正かつ安全な薬物治療の在り方を追究する分野

薬学4学系
クロスラボ

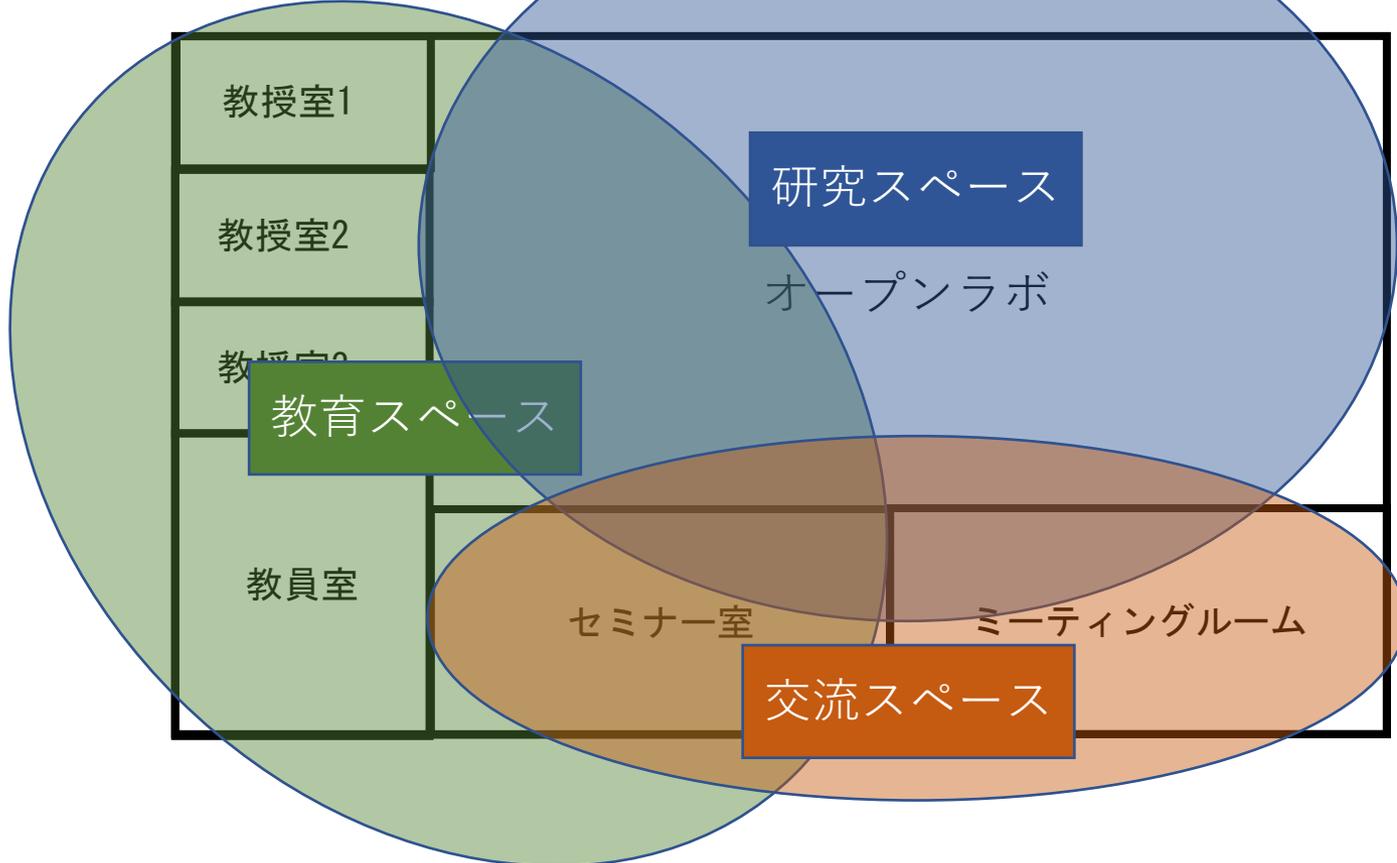
「論理的思考力」・「課題解決力」の修得

共同研究実験室「オープンラボ」での研究

複数の研究室が広い実験スペースを共有

活発かつ自由な交流、議論

分野・立場の異なる研究者間の情報共有



共同研究実験室「オープンラボ」での研究

- 研究室ごとに実験室を設ける従来の形ではなく、
仕切りを取り払い**実験室を大部屋化**
- 異分野の研究者との情報共有や交流等
を促進する**共同研究の場を創出**
 - 研究者同士の距離を縮め、
 - 分野・立場の異なる研究者間の情報共有、
 - 活発かつ自由な交流、議論や共同研究を促進、
 - 研究の更なる発展

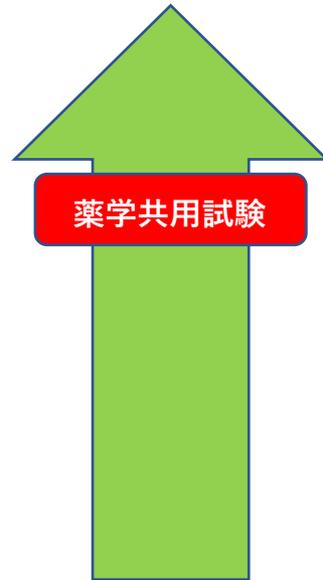
学生は、4年次後期から6年次にかけて「卒業研究」として
研究活動を行う

薬学部で学ぶ6年間



医療薬学科

薬剤師国家試験



薬学共用試験

6

卒業研究

5

後期臨床体験実習
実務実習

4

実務実習事前学習

医療薬学チュートリアル演習Ⅱ

3

総合プレ研究

2

医療薬学チュートリアル演習Ⅰ

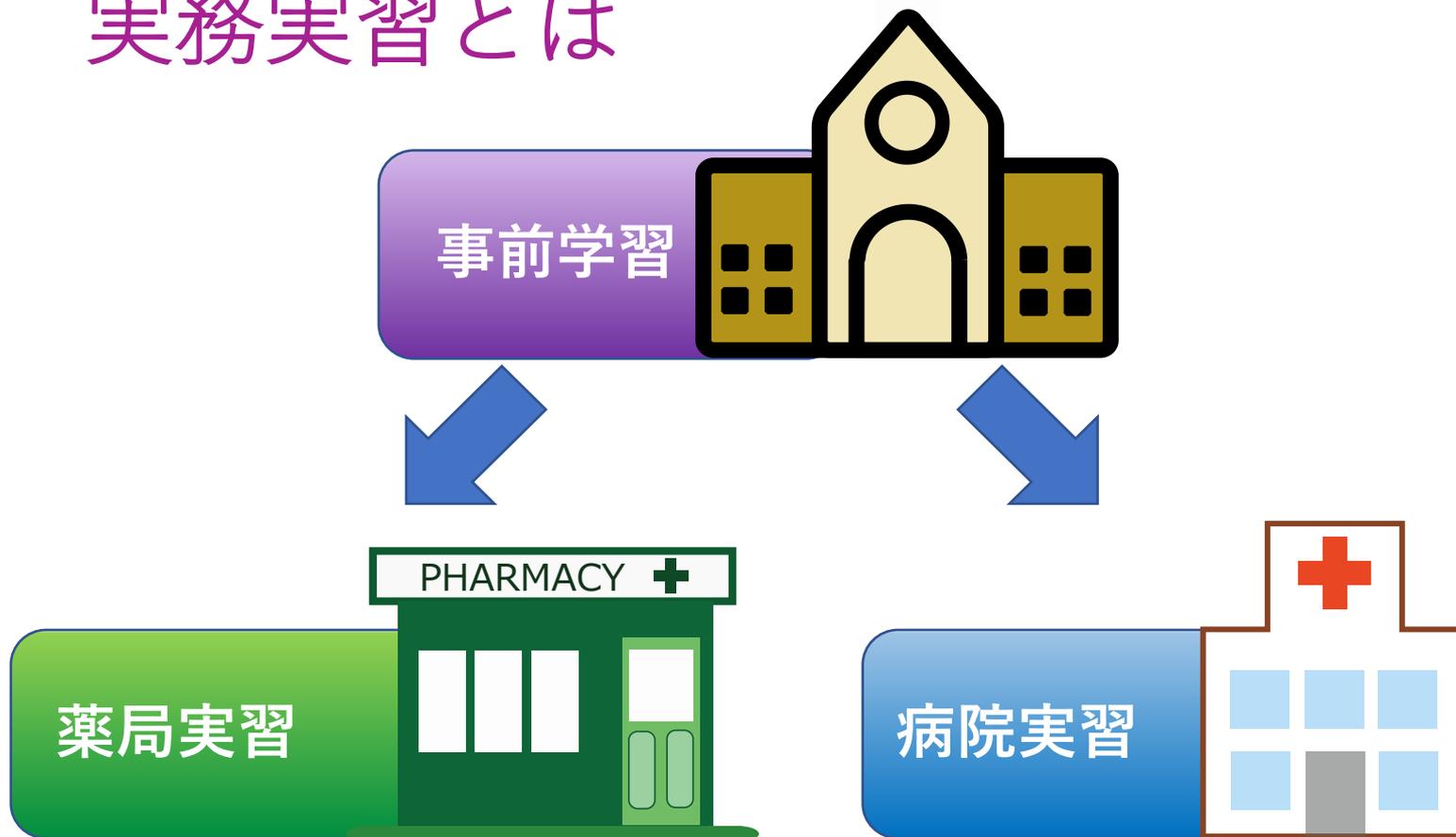
1

早期臨床体験実習

6年間の一貫したカリキュラムで、基礎薬学教育に加えて常に臨床を意識した応用力を身につけることを目指します。

事前実務実習：3～4年次大学で薬局実習、
病院実習を目指して実習教育を行います。

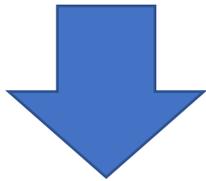
実務実習とは



実習から就職について

グループ病院で実習

- ・ 早期臨床体験実習
- ・ 医療薬学チュートリアル演習
- ・ 病院・薬局実務実習
- ・ 後期臨床体験実習 等



グループ病院への就職



病院薬剤師の使命

臨床を学び、医療に貢献する

病院薬剤師の主な業務

①病棟薬剤業務

最適な薬物療法の実施による有効性・安全性の向上などを目的に、入院患者さんの持参薬等の服薬状況の確認や、医師に処方提案を行うことや、他の医療スタッフからの薬剤に関する情報提供など、多職種と連携しながら業務を行っています。



②薬剤管理指導

入院患者さんの服薬指導を通して、副作用の予防や早期発見、薬歴管理、薬剤の効果を確認し、薬剤管理指導記録を作成し、医師や看護師等と情報共有を行います。



病院薬剤師の主な業務

③注射薬の無菌調製

食事がとれない患者さんに高カロリー輸液や抗がん薬治療が必要な患者さんに、薬剤師が無菌的に注射薬を混合調製します。医療安全の確保には豊富な知識や新しい技術が必要となるため、研修等を通じて研鑽に励んでいます。



④医薬品情報管理（DI）

医薬品に関する情報を収集・評価し、その情報を医師などの医療従事者や患者さんに提供し、最適な薬物療法の支援を行います。

厚生労働省の副作用情報、医薬品の承認情報、企業から提供される各種情報に加え、学術論文や学会発表などの情報を迅速に収集し、院内の関係者に情報提供を行います。



病院薬剤師の主な業務

⑤ チーム医療

医療専門職種の特長性を発揮し、積極的な協働・連携を図ること等により、医療の質を高め、患者さんの状況に対応した効率的な医療サービスを提供するためにチーム医療の推進が図られています。

主なチーム医療は、

- ① 栄養サポートチーム
- ② 外来がん化学療法チーム
- ③ 緩和ケアチーム
- ④ 感染制御チーム
- ⑤ 褥瘡対策チーム
- ⑥ 糖尿病チーム
- ⑦ 精神科チーム
- ⑧ 周術期チームなど



薬学部卒業後の就職

